



平成23年度砂防関係事業当初予算

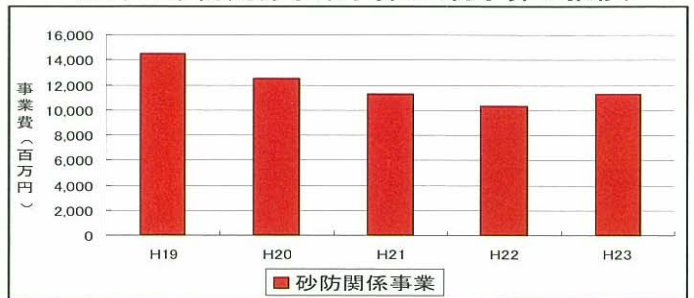
土砂災害から住民の生命・財産を守り、県土を保全し、安全で豊かな地域づくりを進めるため、土砂災害対策を推進しています。平成23年度は、昨年の梅雨前線豪雨や奄美地方における集中豪雨などで被災した箇所の復旧工事、災害時要援護者関連施設を保全する土砂災害防止施設の整備、警戒避難体制を支援する防災情報の提供を重点的に推進します。

(百万円)

	H22年度	H23年度	対前年度比
公共事業	9,707	10,664	1.10
砂防事業	6,236	7,070	1.13
急傾斜事業	2,343	2,251	0.96
地すべり事業	535	677	1.27
情報基盤	20	20	1.00
相互通報システム	—	20	—
基礎調査	573	627	1.09
県単公共事業	642	610	0.95
砂防関係事業費	10,349	11,274	1.09

※災害関連事業費及び砂防管理事業費等は除く

近年の砂防関係事業予算(当初予算の推移)



根占山本地区砂防激甚災害対策特別緊急事業が採択される。

昨年の梅雨前線豪雨に伴い7回発生した土石流により、人家2戸の浸水被害(床上浸水1戸・床下浸水1戸)、国道269号の全面通行止めの被害を受ける他、大浜下地区50世帯91人が38日間の避難生活を強いられました。

このため、平成22年度災害関連緊急砂防事業(約15億円)により除石工事や堰堤新設などの緊急工事を実施しているところですが、再度災害を防止するための抜本対策として、平成23年度から平成25年度にかけて山腹の法面工事、下流部の溪流保全工等を整備する砂防激甚災害対策特別緊急事業(約24億円)が採択されました。

根占山本地区 砂防復旧計画(案)

【激特】大浜川堰堤工(高上げ)
【災関】山腹工
横ボ-リング工、浮石除去、伸縮計等

【災関】大浜川堰堤工(新設)
【災関】導流堤工(新設)

【激特】溪流保全工
護岸工+床固工

【激特】地下水対策

【激特】山腹工
排土+法枠+アンカー

崩壊斜面

【災関】流路開削工
仮設橋梁(国道横断)

【災関】1号堰堤工
補強高上げ、除石工

【激特】1号堰堤工
補強高上げ、堆砂域拡幅工

【激特】4号堰堤工(新設)

【災関】2号堰堤工
補強高上げ、除石工

凡例
 ■ 災害関連緊急砂防事業(H22年度)
 ■ 砂防激甚災害対策特別緊急事業(H23-25年度)
 ○ 監視カメラによる監視
 ■ 崩壊箇所

2022年7月7日

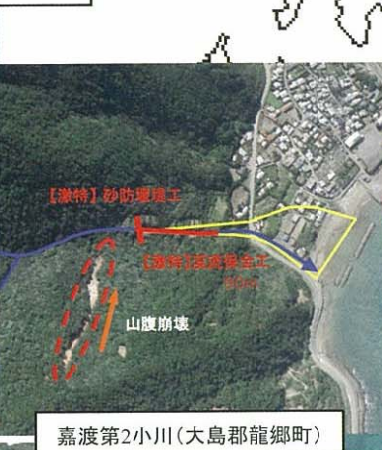
奄美地区砂防激甚災害対策特別緊急事業が採択される。

奄美地方では、平成22年10月18日から停滞する秋雨前線に台風13号の影響による湿った空気が流れ込んだため、10月18日～20日までの総雨量が800ミリメートルを超える記録的な集中豪雨に見舞われました。特に奄美市住用では、20日午前10時から午後1時までの3時間の観測雨量が100年に1度といわれる雨量の1.8倍に相当する354ミリメートルに達しました。これに伴い、島内各地で土石流災害が20件発生し、人的被害や家屋被害が発生した他、幹線道路の国道58号線が全面通行止になるなど、島内全域で広範囲かつ甚大な被害を受けました。

このため、平成22年度災害関連緊急砂防事業（約12億円）により5溪流において砂防堰堤新設等の緊急工事を実施しているところですが、再度災害防止のための抜本対策として、平成23年度から平成25年度にかけて、7溪流において砂防堰堤工等を整備する砂防激甚災害対策特別緊急事業（約19億円）が採択されました。

激特事業一覧

河川名・地区名		市町村	激特要望 H23-25
土	与蓋川	奄美市	○
	脇之戸川	奄美市	○
	山間小川	奄美市	○
石	大和浜川2	大和村	○
	高辻川	大和村	○
	勝浦沢	瀬戸内町	○
	嘉渡第2小川	龍郷町	○

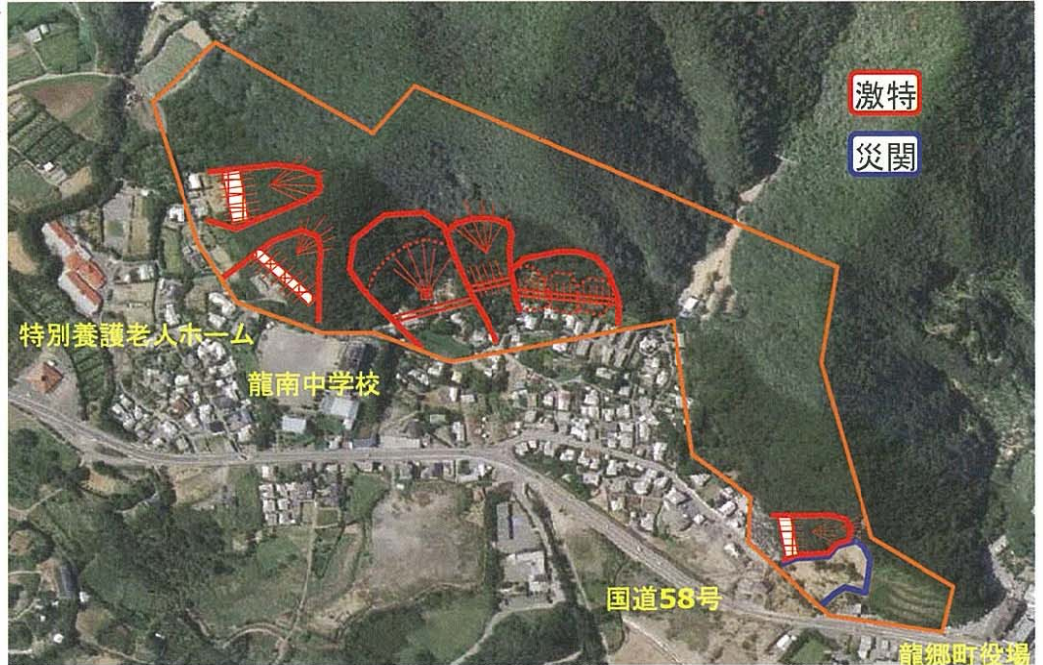


浦地区地すべり激甚災害対策特別緊急事業が採択される。

浦地区では平成22年10月20日に地すべりが発生し、人家等の全壊1戸、半壊2戸、国道58号線が全面通行止めの被害を受けました。

H22年度災害関連緊急地すべり対策事業(約2億円)によりアンカー工等の緊急工事を実施していますが、隣接地には滑落崖が存在し、小規模な崩壊や土砂流出が見受けられ、降雨の時などに地すべり活動が活発化し、人家や国道に被害が及ぶ恐れがあります。このため、再度災害を防止するための抜本対策として、平成23年度から平成25年度にかけて水抜き工及びアンカー工等を整備する「地すべり激甚災害対策特別緊急事業(約11億円)」が採択されました。

被災状況



平成22年災の被災地の復旧及び表彰(さつま町上寺下地区)

平成22年6月18日午後13時頃、住家下のがけが幅4mにわたり崩壊し、約300m³の崩土が、がけ下の佐志小学校体育館前まで到達するとともに、家兼用のお寺の斜面及び基礎下部が流出したため、居住者(1世帯4名)が避難しました。

このため、避難生活の早期解消を図るため、緊急応急工事を県単独費で実施しました。

また、7月28日に災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業として採択され、その後、詳細設計、用地取得、対策工事発注を行い被災から8ヶ月後(H23.2.28)には全て完成しました。

■地元からの感謝の声■

工事が完成した際には、お寺の檀家さんから、迅速な対応や安全対策について、感謝の電話が振興局にありました。また、佐志小学校から工事を施工したさつま町の建設業者「(株)白川田工務店」に対して、全校朝会で感謝状が渡されました。これは、工事中の現場管理や学校内の環境美化への協力、校門に「飛び出し注意」看板を設置するなど、校内外の安全対策などに積極的に取り組んだことへの学校側の感謝の気持ちの表れだと思われます。



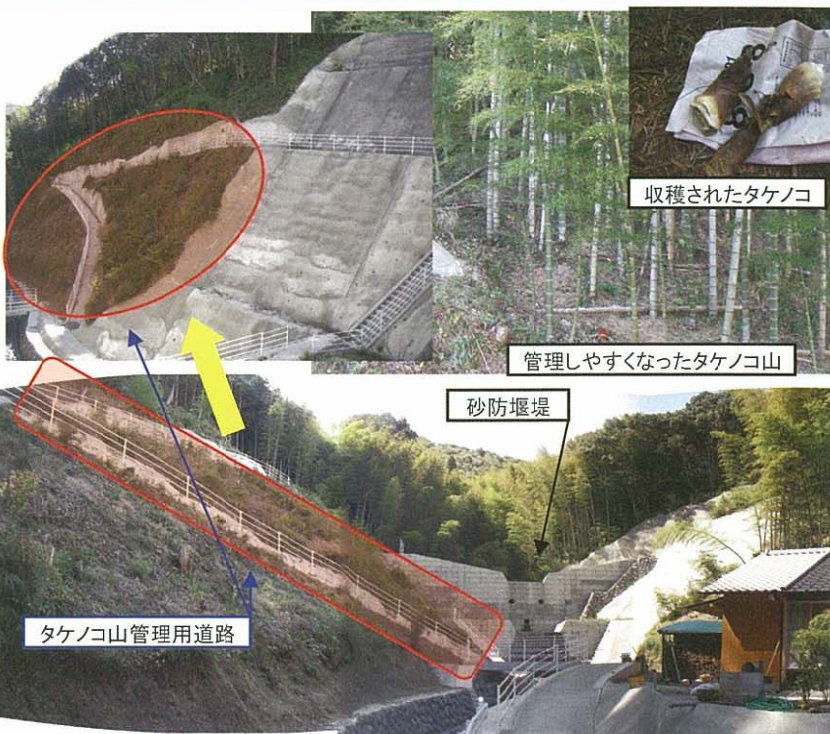
里山砂防事業の取り組み事例紹介

■里山砂防の整備■

全国第1位の竹林面積を有する鹿児島県において、モウソウチクが県が推奨する「かごしまの農林水産物認証制度」の認証によりブランド化され、竹林再生が注目を集めています。このような中で、さつま町さつま宇都川において、地元からの要望と里山砂防事業のタイミングが合い、タケノコ山の管理者とも維持管理の話もスムーズに進み、堰堤裏のタケノコ山の維持管理を目的とした管理用道路が整備されました。管理用道路の幅については、用地の制限がある中、一輪車を押して登れるような坂路を整備しました。（斜面上に残る獣道を利用して、坂路を現場あわせで施工しました。）

■協定締結及びその後■

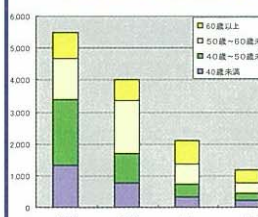
平成21年12月に協定を締結し、さつま宇都川の砂防施設の整備も終わり、平成22年度から協定を運用しています。山林所有者の満園さんも、「タケノコの収穫や施肥の際に非常に助かっている。」とのことでした。堰堤背後のタケノコ山（砂防指定地）も、荒廃することなく維持されることでしょう。



(参考)里山砂防事業とは

県内各地で、大雨等に伴う**流木災害**が発生し、その被害が甚大化しています。

県では、流木の恐れのある森林を多く抱えることから、砂防設備による対策のみでなく、**発生源である森林の対策**も合わせて実施する必要があります。このため流木止め施設の整備の他、発生源対策として、**砂防管理用道路等を整備したうえで山林所有者等との共生・協働による砂防指定地内の山林管理の強化**を平成22年度から里山砂防事業として実施しています。



鹿児島県の林業従事者の推移



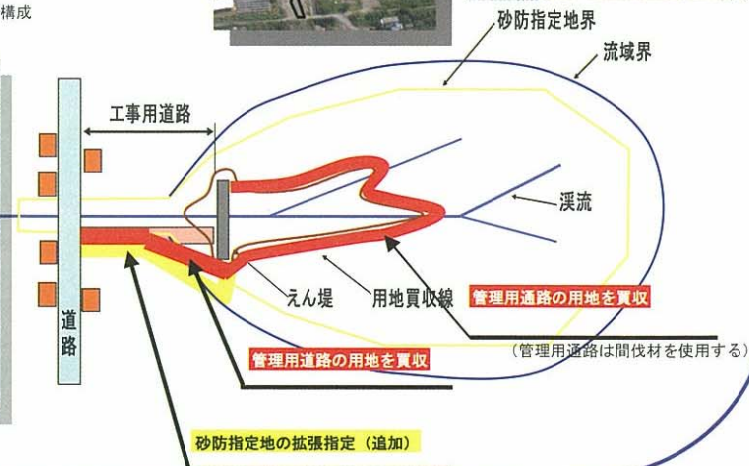
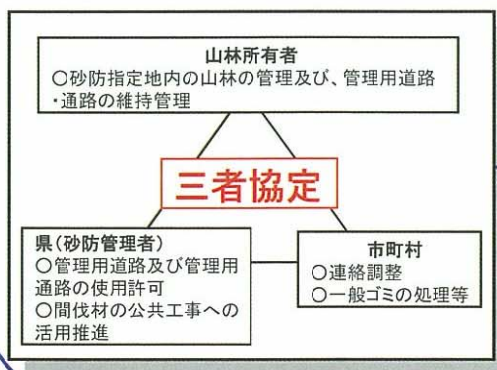
鹿児島県内の林業従事者の年齢構成



不透過型堰堤(イメージ)



間伐材を活用した管理用道路・通路のイメージ



土砂災害警戒区域等指定状況及び平成23年度予定

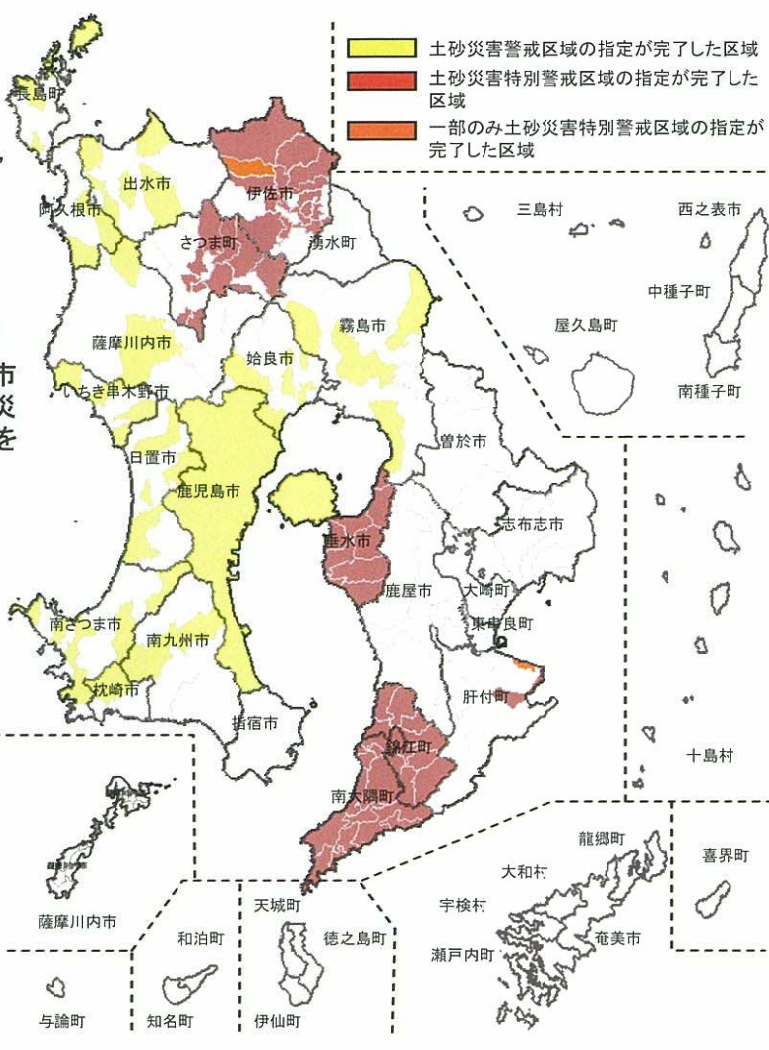
平成22年度は、さつま町、伊佐市、肝付町で、新たに729箇所の土砂災害警戒区域と694箇所の土砂災害特別警戒区域の指定を行いました。

これにより県内の指定市町村は13市5町の18市町となりました。[全域指定は垂水市、錦江町、南大隅町及び鹿児島市(土砂災害警戒区域のみ)になります。]

平成23年度は、引き続き災害実態を踏まえ、市町村等との連携のもと霧島市、志布志市、西之表市及び奄美市等において土砂災害の被害が及ぶ範囲を特定する「基礎調査」を実施し、平成22年度基礎調査を実施した伊佐市、西之表市及び奄美市等において指定を進めます。また、災害時要援護者関連施設を含む地域で基礎調査を日置市及び薩摩川内市等の県内全域を対象に行います。

平成23年3月31日現在指定状況

市町村名	土砂災害警戒区域	土砂災害特別警戒区域
日置市	480	0
霧島市	787	0
いちき串木野市	243	0
南さつま市	488	0
始良市	306	0
鹿児島市	3,267	0
枕崎市	140	0
阿久根市	399	0
出水市	330	0
薩摩川内市	619	0
南九州市	233	0
長島町	271	0
垂水市	351	289
錦江町	317	306
南大隅町	476	426
さつま町	800	750
伊佐市	559	541
肝付町	72	69
合計	10,138	2,381



県消防学校での『土砂災害対策』講義の開催

土砂災害からの犠牲者ゼロを目指して、「土砂災害防止の集い」や「地域防災リーダー養成講座」での講義等、様々な機会を捉え、県民の皆様へ土砂災害からの早期避難の必要性等について啓発活動を行っています。

平成23年2月14日に県砂防課は、県消防学校初任教育課程において、初めて「土砂災害対策について」の講義を行いました。

「土砂災害対策について」の主な内容

- ・近年の鹿児島県内の土砂災害
- ・今年の梅雨前線豪雨等による土砂災害発生状況
- ・南大隅町船石川の土石流災害
- ・砂防施設の効果事例
- ・土砂災害防止法
- ・土砂災害警戒情報
- ・前兆現象
- ・警戒避難の実態
- ・森林の機能 等



今回の講義は、土砂災害が頻発している本県の実態を鑑み、災害現場にいち早く駆けつけ、救助活動を行う消防隊員に土砂災害の基本的な知識等を修得してもらうことの重要性について当課から県消防保安課に申し入れが行われ、実現しました。

今回、受講した初任警防隊員が土砂災害に関する基本的な知識を習得した上で、消防救助現場に配属されるようになることで、本県の消防防災力の向上に繋がると考えられます。

今後も県消防学校で本講義が継続して行われ、防災関係機関が一体となって土砂災害対策に取り組んでいくことを切に期待するものです。

鹿児島県土木部砂防課

課長補佐

大久保 薫
(内3612)



参事兼
砂防課長

伊藤 仁志
(内3611)



技術補佐

(土砂災害防止推進班長)
小川 和久
(内3613)



工事事務係

- 砂防施設の管理に関すること
- 砂防広報活動に関すること

主幹兼
工事事務係長



(内3614) 上野 義昭

専門員

予算・決算に関すること



(内3614) 中村 純仁

主査

入札、契約、議会に関すること



(内3615) 宇都 利香

主事

庶務、職員の福利厚生、砂防広報に関すること



(内3620) 平 衣織

土砂災害防止推進班

- 土砂災害警戒区域等に関すること
- ソフト対策等(防災訓練、防災教育)に関すること

技術専門員

土砂法に係る企画調整、市町村支援に関すること



(内3621) 門前 信一

技術主査

土砂災害警戒区域等の指定に関すること



(内3622) 末永 浩二

主査

ソフト対策、法指定区域の事務に関すること



(内3622) 田中 陽子

傾斜地保全係

- 急傾斜、地すべりに関すること
- 土砂災害警戒情報に関すること

技術主幹兼
傾斜地保全係長



(内3616) 瀬戸口 淳一

技術主査

補助地すべり事業に関すること



(内3616) 北 信也

技術主査

補助急傾斜事業に関すること



(内3621) 茂谷 紀博

技術主査

県単急傾斜、急傾斜区域、土砂災害警戒情報に関すること



(内3622) 石田 知謙

砂防係

- 砂防事業に関すること
- 火山防災対策に関すること

技術主幹兼
砂防係長



(内3617) 北園 哲也

技術主査

砂防事業全般、火山防災対策に関すること



(内3619) 稲 卓郎

技術主査

補助砂防事業に関すること



(内3619) 西濱 繁樹

技術主査

県単砂防、砂防指定地に関すること



(内3618) 栗脇 真

土木技師

補助砂防事業(離島・奄美)に関すること



(内3618) 倉成 亮

平成23年4月の人事異動

転出者	転出先	転入者
新屋 博数(砂防課課長補佐)	農政部農業経済課課長補佐	大久保 薫(農政部農政課主幹(兼)経理係長)
松元 勇(砂防課傾斜地保全係長)	大島支庁建設部建設課河川港湾係技術主幹	瀬戸口 淳一(東京事務所行政第五課長)
寺地 美紀子(砂防課工事事務係)	出納局会計課	宇都 利香(大島支庁総務企画部)
久野 聡(砂防課土砂災害防止推進班)	大島支庁沖永良部事務所建設課道路河川係長	北 信也(鹿児島地域振興局農林水産部)
橋口 哲也(砂防課傾斜地保全係)	大隅地域振興局建設部	茂谷 紀博(鹿児島地域振興局建設部)
桑水流 剛(砂防課砂防係)	北薩地域振興局建設部(出水市駐在)	稲 卓郎(大島支庁瀬戸内事務所)
神志那 仁(砂防課傾斜地保全係)	環境林務部森林整備課	石田 知謙(鹿児島地域振興局建設部)
竹下 真佳(砂防課土砂災害防止推進班)	保健福祉部保健医療福祉課	田中 陽子(商工労働水産部観光交流局国際交流課(国際交流協会))
		栗脇 真(東京事務所(国土交通省河川局砂防部))
		倉成 亮(国土交通省北陸地方整備局立山砂防事務所)

【編集後記】

4月の定期人事異動により砂防課は半数が入れ替わりました。新メンバーとともに本年度も”砂防メールかごっま”の定期発行(年間発行目標6回)に向け取り組んでまいりたいと思っておりますので、砂防に関する旬な話題等がございましたら是非ご提供ください。

昨年度は、梅雨前線豪雨災害、奄美豪雨災害、新燃岳噴火等、途切れのなく災害に見舞われましたので、今年度は災害のないことを祈るばかりです。気候が比較的安定している今の時期に、昨年の災害発生箇所をはじめ、土砂災害危険箇所を入念に点検し、土砂災害防止に努めてまいりましょう。

(編集長 技術補佐 O・K)

ご意見・ご感想お寄せ下さい

TEL:099-286-3618 FAX:099-286-5627

E-MAIL:sabou@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島県ホームページ: <http://www.pref.kagoshima.jp>

土砂災害警報システムホームページ: <http://www.doboku-bousai.pref.kagoshima.jp>

“みんなであらう土砂災害”